身を切る改革、維新だからできる。

日本維新の会

日本維新の会 名古屋市会議員（名東区選出）

大島ひでひろ 市政報告 vol.1

～古い政治を壊す。新しい政治を創る。～

いつもありがとうございます

4月に市会議員に当選させていただいてから初の定例会となる、名古屋市会・令和5年6月定例会が6/19-7/4に執り行われました。

今回の市政報告では、6月定例会の議会の様子や、大島ひでひろが初めて行った本会議質問の模様を中心に、お伝えさせていただきます。

ただ一人、日本維新の会に所属する市会議員として、第一歩を踏み出すこととなりました。

正直、まだまだ手探りな部分も多いです。議会の中で、これまで“当たり前”とされてきたことに戸惑い、疑問を感じる場面も、少なからずありました。

ここから、何に臆することなく、ブレることなく、「おかしい」と思ったことには声を挙げ、誰よりも汗をかいて、名古屋と日本の未来のために必要な仕事を、覚悟を持って進めてまいります。

引き続き、大島の活動をあたたかく、そして厳しくチェックいただけますと幸いです。

※選挙に関して文章での御礼は、公職選挙法に抵触するため、差し控えさせていただいております。大変恐縮ですが、ご理解いただけますと幸いです。

大島ひでひろ

昭和60年名古屋市生まれ/愛知県立明和高校、中央大学法学部卒/
郵便局㈱(現・日本郵便㈱)入社後、社長秘書、経営企画部など歴任/
愛知維新の会事務局次長を経て、令和5年名古屋市会議員選挙（名東区）初当選/
現所属：日本維新の会名古屋市議団、愛知維新の会幹事長代行

発行責任者：名古屋市会議員　大島　英勲
〒465-0092 名古屋市名東区社台3-93-603
Tel/070-8909-9716　Fax/050-3094-8895
E-mail/hidehiro.oshima.ra@gmail.com

各SNSで市政情報など日々発信中!
フォロー・いいね!お願いします!

大島ひでひろ

Twitter　Instagram　Youtube

✓ 大島ひでひろ本会議質問の概要

6/22、大島は初めての本会議質問に立ちました。
質問に取り上げたテーマは、選挙時から公約として掲げ、市民の皆様からもたくさんのご意見をいただいてきた2点。
1つ目は、子どもたちの「個別最適な学び」のため、1人1台配備のタブレットについて（いわゆる"GIGAスクール構想"）。
2つ目は、いつも混んでいる区役所窓口の混雑緩和のため、あるべきデータ分析・利活用の姿について。

※質問の様子はYoutubeでも閲覧可能です。
ぜひご覧いただき、ご意見いただければ幸いです。

Youtube

Q1.本市におけるGIGAスクール構想の今後の展望について

大島の質問要旨

名古屋市では、令和3年から1人1台タブレット端末（市内の中学校で約16万台）が配備された。新型コロナ対策はもちろん、有効活用すれば、子どもにとって「個別最適な学び」に寄与するものであるはず。一方で、一部の保護者の方からは「使い勝手が悪い」「子どもに負担ばかり」といった手厳しいご意見も耳にする。

▷「何を目指して」タブレットを活用するのか、市としての成果指標（到達目標）が定まっていないことが課題。タブレットは数年おきに機器の買替が必要で、多額の予算もかかる。名古屋市としてあるべき姿を成果指標として定め、責任をもって改善に取り組むべき。

当局の回答要旨（教育長）

今後ICTを活用した教育を進めるにあたっては、1人1台端末の効果的な活用に係る成果指標を設定し、その進捗状況を確認しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の推進を目指していきたい。
1人1台端末の更新時期も近い。更新に向けては、利用者である児童生徒からの意見を踏まえるとともに、調査・研究を行い、本市の目的・趣旨に沿った、より良い学習環境となるよう努める。

答弁を踏まえた大島からの要望

成果指標の設定、施策目的を踏まえた学習環境の整備といった点について、前向きな答弁をいただき、感謝。
加えて、以下の点を要望する。
・児童生徒に対してタブレットについての意見を聞くにあたっては、より深く実態に迫ることができるよう、聞き取り方法や設問は、内容をしっかり吟味すること。
・成果指標の設定は、中期的な視点での取組みになる。それまでの間、課題を棚上げするのではなく、短期的に実行可能なことは速やかに着手し、本件に関する改善を進めていただきたい。

Q2.デジタル化時代における区役所窓口の業務改善について

大島の質問要旨

地元・名東区役所を見ても、区役所の窓口はいつも混雑。今、名古屋市では、手続きのオンライン化（役所に行かなくてもパソコンやスマホで手続きできるようになること）などが進められていると聞いているが、オンライン化が進んでも、引き続き窓口を利用する市民の方は一定いると想定。そのため、市民の皆様の利便性向上、職員の負担軽減のため、窓口業務の改善策は継続して検討が必要。

▷混雑の緩和には「いつ、どんな手続きで混雑する」といった精緻なデータ分析が不可欠。デジタル化時代の財産ともいえる、これまで役所に蓄積されたデータの活用状況と業務改善の今後の方向性は。

当局の回答要旨（スポーツ市民局長）

区役所窓口の現状としては、3、4月に取扱件数が大幅に増加、週初めには手続きに来られる市民が多くなる傾向。こうしたことから現状、窓口の混雑状況発信のほか、過去の月別の取扱い件数等を勘案し、手続き等をご案内する職員の配置、日曜窓口の実施回数に反映。
今年度は、行政手続オンライン化の進捗状況等の調査で市民の来庁が不要となる手続き等の把握を行っており、調査結果も踏まえ、窓口に来庁される市民の利便性向上に向けた検討についても進める。

答弁を踏まえた大島からの要望

手続きのオンライン化も、利用しやすい環境をつくるためのあくまで手段で、常に改善策を検討する必要あり。
答弁から、窓口業務において「月別の取扱い件数」といった大くくりの把握以上の、詳細なデータ分析は、現状不十分であることが明らかになった。デジタル化時代において、蓄積・収集したデータを分析し、企画立案や未来予測などを行い、それをもとに意思決定を進めることは、もはやスタンダード。その意味で、さらに踏み込んだデータ利活用を行い、より効率的で利便性の高い窓口業務・行政サービスを目指していただきたい。

✓ 6月定例会の概要

【本会議】物価高騰対応などの補正予算等、12議案が可決

家計を直撃する物価高騰への対応として、お子さんの給食やインフルエンザ予防接種費用にの支援などについての補正予算など、12件の議案が可決。市民生活を守るためには必要な措置と判断し、大島はいずれも賛成しました。

（主な補正予算の内容）

項目	内容	補正予算額
学校、保育所等給食費に係る物価高騰対応支援	物価高騰の中でも、保護者の皆さんの負担を増やすことなく現在の給食の水準を維持するため、高騰する食材費の支援に必要な経費を増額するもの。	9.41 億円
子どものインフルエンザ予防接種費用の助成	進学や就職等を控えるお子さんを応援するため、令和5年度中に12・15・18歳を迎えるお子さんのインフルエンザ予防接種費用を無償化。	3.99 億円
経済対策特別資金（原油・原材料高関連枠）融資に係る名古屋市信用保証協会に対する信用保証料補助	コロナ禍において原油・原材料高の影響を受けた市内中小企業への支援として、名古屋市信用保証協会を通じて実施する融資に係る信用保証料の1/2を補助。	3.10 億円

など

【委員会】所属委員会について

名古屋市会の議案は全て本会議で決定しますが、市の仕事は非常に幅広く、内容も複雑。そこで、本会議の予備審査的な機関として、少人数の議員で構成される「委員会制度」が設けられています。大島が所属する委員会と、主に議論する内容をご紹介します。

（大島の所属委員会）

種別	大島の所属委員会
【常任委員会】 担当部門の議案や請願などの審査・調査等を行う	【経済水道委員会】 経済局、観光文化交流局、上下水道局の所管に属する事項 例：企業、スタートアップ支援に関すること、名古屋城木造復元　など
【特別委員会】 特に必要と認めた事件を審査・調査するために設置される、臨時的な機関	【大都市制度・広域連携促進特別委員会】 大都市の実態に対応するよう行財政制度の拡充強化、地方分権及び広域連携の促進、区役所改革に関する調査　など

市政へのご意見・お困りごとをお聞かせください

この度は、大島ひでひろの市会報告をご覧いただき、誠にありがとうございます。
皆様の声をもとに、より良い名古屋をつくるため、仕事をしてまいりたいと思いますので、日常の中でお気づきの名古屋市政へのご意見やお困りごとがございましたら、
お気軽にMail：hidehiro.oshima.ra@gmail.com
までご連絡ください！また、公式LINEではチャットでのやりとりも可能です。ご登録、お待ちしております！

公式LINE